

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第3回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会
開 催 日 時	令和元年12月2日（月） 18時00分から 20時00分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館 特別会議室
出 席 者	委 員：小嶋委員、小杉委員、多田委員、谷本委員、花田委員、廣寄委員、 福岡委員、藤田委員、益田委員
欠 席 者	田中委員、豊高委員
案 件 名	【案件】 （1） 市民・事業者アンケートの結果のとりまとめについて （2） 第3次環境基本計画のテーマと「基本目標」・「施策体系」（案）について （3） 第3次環境基本計画の「基本目標とSDGsとの関係」、「環境指標」（案）について （4） 部会検討内容の中間報告（案）について （5） 今後のスケジュールについて
提出された資料等の 名 称	資料1 市民・事業者アンケートのまとめ（修正案） 資料2 第3次環境基本計画のテーマと「基本目標」・「施策体系」（案） 資料3 第3次環境基本計画の「基本目標とSDGsとの関係」、「環境指標」（案） 資料4 部会検討内容の中間報告（案） 資料5 第3次枚方市環境基本計画策定についての基本的な考え方について部会検討内容の中間報告（案）の概要 資料6 今後のスケジュール（案） 参考資料1 令和元年度第2回枚方市環境基本計画策定部会における意見要旨 参考資料2 市民・事業者アンケート結果（案） 参考資料3 市民アンケートのその他クロス集計 参考資料4 市内高校生ワークショップ報告書（案）
決 定 事 項	・概ね事務局から説明のあったとおりとし、中間報告（案）について環境審議会に報告を行う。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0

所管部署（事務局）	環境部 環境保全課
-----------	-----------

審 議 内 容

1 開 会

部会長：只今から令和元年度第3回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会を開催します。事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局：本日は、委員11名の内、9名のご出席をいただいております。従いまして、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。

部会長：ありがとうございます。また、前回の部会の冒頭でも報告させていただきましたが、本日より市民委員の小嶋様にご出席いただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日、傍聴希望の方はおられますか。

事務局：おられません。

部会長：それでは、本日の議事を進行させていただきます。本日の部会では、前回の部会で意見のあった市民・事業者アンケートの結果の確認や、第3次枚方市環境基本計画の基本目標や施策体系、環境指標などについて議論してまいります。また、のちほど事務局からスケジュールについての説明がありますが、1月7日に開催の全体会で、部会の検討内容の中間報告を行う予定にしておりますので、その中間報告（案）についても確認してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

案件に入ります前に、本日の資料の確認を事務局からお願いします。

事務局：資料を確認させていただきます。

次第

資料1 市民・事業者アンケートのまとめ（修正案）

資料2 第3次環境基本計画のテーマと「基本目標」・「施策体系」（案）

資料3 第3次環境基本計画の「基本目標とSDGsとの関係」、「環境指標」（案）

資料4 部会検討内容の中間報告（案）

資料5 第3次枚方市環境基本計画策定についての基本的な考え方について（部会検討内容の中間報告（案）の概要）

資料6 今後のスケジュール（案）

参考資料1 令和元年度第2回枚方市環境基本計画策定部会における意見要旨

参考資料2 市民・事業者アンケート結果（案）

参考資料3 市民アンケートのその他クロス集計

参考資料4 市内高校生ワークショップ報告書（案）

となっています。

なお、参考資料2、3については、今回実施した補正集計の結果を加えたものとなっており、参考資料4については、ワークショップ当日に使用した説明資料を加えたものとなっております。

過不足はございませんでしょうか。

案件1 市民・事業者アンケートの結果の取りまとめについて

部会長：それでは、案件1「市民・事業者アンケートの結果のとりまとめ」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料1、参考資料2、3、4により説明】

部会長：ありがとうございました。前回の部会において、アンケート結果についてご説明をいただいた際に、回答者の地域別や年齢別の割合が枚方市の人口割合とかけ離れている場合

は、補正の必要があるのではないかというご意見をいただきましたので、補正した結果をただいまご説明をしていただきました。参考資料 1 の 3. 検定についてはどうになりましたでしょうか。

事務局：個々の回答に対してカイ 2 乗検定を実施しましたが、大きな相関関係はありませんでした。実際の地域別や年齢別の割合と比較し、回答者の割合に変なウェイトがかかっていないことを確認し、検定についても整理ができたと考えております。

案件 2 第 3 次環境基本計画のテーマと「基本目標」・「施策体系」(案) について

部会長：案件 2「第 3 次環境基本計画のテーマと基本目標・施策体系 (案)」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料 2 により説明】

部会長：ありがとうございます。2 ページの「施策体系図 (案)」の「分野と分野別の基本目標」の順番を前回から変えておりますが、その他、「第 3 次環境基本計画のテーマ」や「施策の分野」等、何かご意見はございますでしょうか。

委員：確認させていただきたいのですが、「施策体系図 (案)」の「施策の分野」に青色で吹き出しを記載されていますが、いずれ取り払うのでしょうか。

事務局：中間報告の際には吹き出しは残したままで報告し、計画策定の際には取り払います。

委員：「施策分野」の一番下の吹き出しに「開発誘導」と記載されていますが、どのようなことを指すのでしょうか。

事務局：環境影響評価といった開発行為に対して環境に配慮するような制度、景観法などといったまちづくりをしていく際の環境配慮の視点も必要と考え、記載させていただきました。

部会長：開発に関して環境に配慮するよう誘導するという意味でしょうか。

事務局：環境影響評価の部分が大きいですが、開発の際に生活環境も含めて配慮していくという意味で記載させていただきました。開発の手続きに関する条例の中に生活環境への配慮も含まれていますので、環境への配慮の視点をもって進めていきたいと考えています。

部会長：先程のご質問は、「開発誘導」と記載すると、開発するように誘導すると捉えられてしまうのではないかというご意見だと思います。

委員：例えば、開発時の誘導とするのはどうでしょうか。

委員：「⑤都市環境・生活環境」の「施策分野」に「環境にやさしいまちづくりの推進」と記載されている以上は、お年寄りが住みやすいことや子どもに配慮されていることも含まれると思いますが、住む人にとってやさしいという視点が欠けているように思います。自然環境だけでなく暮らす人のことを考えた視点を加えた方がいいと思います。

事務局：ありがとうございます。そのような視点も含まれていることがわかるように、吹き出しの書き方を変えたいと思います。

委員：やさしいまちづくりのなかには、住む人にとってのやさしいまちづくりも含まれていると思いますので、それがわかるようにしていただければと思います。

副部会長：人にやさしいまちづくりに変更すれば、事務局が意図していることにより近くなるのではないのでしょうか。

事務局：人と環境にやさしいまちづくりの推進等、変更させていただきます。

副部会長：「②自然環境」の「施策分野」にまちなか緑化が記載されていますが、「⑤都市環境・生活環境」の「施策分野」の美しいまちなみの確保に含まれるのが自然に思うのですが。

事務局：まちなか緑化は、生物の生態系の広がりといった部分と、憩いの場といった人の感覚のような部分がありますが、施策としては、みどりの基本計画のなかで緑全般のことが位置付けられていますので、メインは自然環境であって、都市環境・生活環境にも関係があるという整理になってくるかと思います。

部会長：他に何かお気づきになったことがあれば、事務局までお伝えいただけたらと思います。

事務局：アンケートの結果を踏まえ、第3次環境基本計画のテーマを「みんなでつなぐ、豊かな環境と共生した、住み続けたいまち 枚方」と設定しましたが、本日欠席されている豊高委員より、この内容であると、枚方市内のことだけを視点にしているのではないかとご意見をいただきました。この点について、委員の皆様からご意見や何かヒントをいただければと思うのですが。

副部会長：環境問題の在り処は必ず各地域にあり、環境問題を解決していくうえで地域の環境が基本となってきます。枚方市の環境問題を解決することが、世界の環境問題の解決につながっていくという意味で、テーマのはじめに「地域から世界へ」等を入れてはどうでしょうか。

部会長：SDGs ともつなげていくということなので、それも踏まえて検討していただければと思います。

案件3 第3次環境基本計画のテーマの「基本目標とSDGs との関係」・「環境指標」(案) について

部会長：案件3「第3次環境基本計画の基本目標とSDGs との関係、環境指標 (案)」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料3により説明】

部会長：ただいま事務局から、「第3次環境基本計画のテーマと基本目標とSDGs との関係」、「環境指標 (案)」について説明がありましたが、ご意見やご質問はございますか。

委員：3 ページの「2. 環境指標について」の「(1) 環境学習、パートナーシップ」の目標設定については、人口の増減を考慮されていますか。

事務局：過去5年の実績の増加率から目標値を設定しています。人口の増減までは考慮できていらず、人口の増減を考慮した目標値設定は難しいと考えております。

委員：日本全体で人口が減っているなかで、枚方市だけが増えていくことは考えにくいので、過去の増減率から10年後の目標値を設定するのは難しいのではないのでしょうか。今は現状維持が増加していると同じ意味で解釈できると思います。また、人数の目標値に関しては、例えば今は5%だが将来は7%に増やすといった割合で示すという方法もあるのではないのでしょうか。図2の目標値の伸び方には無理があると思います。

事務局：参加できる機会を増やしていくため、累計の目標値として設定していますが、今と同じペースですずっと伸びていくのかは、事務局でも議論がありました。

委員：エネルギーについても、一人あたりの消費量をどれだけ減らすという指標もいいですが、総量としてどれくらい減っていくのかも考慮し、適切な目標値設定をお願いします。現実的な目標値に少し理想を上乗せするような設定をするのがいいのではないのでしょうか。

事務局：過去5年間の実績に基づき目標値を設定していますが、人口推計も確認しながら再度検討させていただきます。

部会長：目標値に対する具体的な取り組みが示されていないため、ただいまのご指摘をいただいたように思います。

委員：人口の伸び率だけを考慮するのではなく、例えば今年は学校教育へのアプローチ、来年は中小企業の社員へアプローチをするなど、具体的な取り組みを盛り込んでいただきたいと思います。そうすれば、枚方市として具体的に何に力を入れて取り組んでいるかを示すことができるのではないのでしょうか。

事務局：現環境基本計画における進行管理については、指標は設定しているものの事業としての目標値をそのまま使って進行管理を行っているため、指標としての評価が難しい状況で

した。次期環境基本計画の策定にあたり、委員の皆様にもまず指標を示し、ご意見をいただいたうえで、今回の部会で具体的な施策を示していこうと考えていました。現在記載している引き続き実施していく施策だけでなく、学校教育の部分や企業向けの部分など10年間で新しい施策として実施していくため、全く達成できない指標ではないと考えております。次期環境基本計画には新たな施策も盛り込む予定ですが、ご指摘いただいたように、具体的な施策は示していませんので、次回部会までに検討させていただきます。

部会長：ありがとうございます。他にご意見はありますか。

委員：まず1つめですが、資料3の図について、目標年度を2030年度としているなかで、図5のみ2025年度となっていますがよろしいでしょうか。2つめは、図表のタイトルがすべて「～の推移」とされていますが、推移の部分がわずか2～3年でありタイトルとしてこれでいいのでしょうか。また、図2の実績の推移の部分の線が消えてしまっていること、さらに、毎年度管理する指標としているならば、毎年データをお持ちだと思いますが、図によっては2016年度や2014年からのものであったりするので、ルールに基づいて統一していただいた方が、恣意的な印象を与えることがなくいいのではないのでしょうか。4年ごとに管理している等内容が異なるのであれば、それはそれでいいのですが、統一できるところは統一し、タイトルについては違和感があるため検討をお願いします。なお、「(4) 資源循環」の指標をごみの量とされていますが、ごみ政策は年々変わっていきますので、ご検討をお願いします。図2の目標値設定については、直近の実績から10倍になっていますので、何か説明が必要ではないのでしょうか。

委員：累計と記載はしていますが、図2は私も問題があると思います。はじめの3年は単年度実績と記載しているものの、その後の目標は累計となっています。

委員：図2については単年度実績と目標値の累計をつないでしまっているところが、どうしても違和感がありますので修正をお願いします。

部会長：3年の単年度実績を累計に修正すればいいのではないのでしょうか。

事務局：過去の経過をベースに、2018年を基準に累計の目標値設定を考えており、過去3年の参加者数の推移を記載することで参考になればと考えた結果、このような図になってしまいました。

委員：計算の仕方の違うものを線でつないでしまっていることが問題だと思います。

委員：累計とそうでないものを、色を変えて記載すればいいのではないのでしょうか。

事務局：図2に関しては、わかりやすく工夫させていただきます。また、図のタイトルについても整理させていただきます。図5については、他の図との整合性がとれるように年度も含めて整理いたします。次期環境基本計画は2030年を目標に設定していますが、ごみに関する計画の目標年度は2025年度としており、環境基本計画において独自に目標年度を設定するのは難しいと考えたため、「(4) 資源循環」の目標年度はごみの計画と合わせて2025年としました。ただ、ごみの計画については中間見直しを検討されているとのことですので、新しい目標数値が出れば、合わせて環境基本計画についても修正が可能と考えています。また、指標については、計画が進むなかで全く達成できていないものや状況が変わっている等、見直しが必要である理由のある指標については、随時見直しすることも視野に入れていくことを検討しています。

部会長：ありがとうございました。委員の皆様より指摘があったように、誤解がないよう修正をお願いいたします。

委員：環境基本計画は管理していくことが基盤になっているのですか。

事務局：市の計画は大きな方向性を示しており、事業の進捗が見えにくい部分があるため、毎年庁内で事業精査を行い、環境審議会でも年1回進捗状況のご報告させていただいています。年度途中であっても進捗状況を見ていくべきであり、その指標のひとつとして数字

を示せば評価しやすいのではないかと考えています。

委員：数字を管理していくことはいいと思いますが、エネルギー使用量を減らしたり緑化面積を増やすなどといった具体的な施策をどこまで盛り込むことができるのか、今の管理する指標には感じるできません。

事務局：環境基本計画の方向性に基づいて、各課で実施する事業の目標設定等を行うことで、事業自体の進捗管理はできますが、そのことで温暖化がどれだけ解消されたのかは見えないため、市域の温室効果ガスの量を見ていくといった大きい PDCA と小さい PDCA を回して二重で管理していくような形にしていければと考えています。施策とセットで記載できていませんが、現在の資料では指標の状況がわかればと考え、設定しました。

委員：環境基本計画が具体的な施策を伴うものではなく、理念であるものなのであれば将来こうありたいとすることは構わないと思いますが、そうであったとしても、管理する指標のなかに将来自分たちはこうありたいということがわかるようにしていかなければならないと思います。

部会長：計画は具体性をもって指標の進捗管理をしていくこととなると思いますが、事務局からの説明ですと途中段階ということでしょうか。

事務局：資料 4 の 17 ページ、進行管理のイメージ図のように、計画としては大きな PDCA を回すこととなりますが、毎年度各事業の目標値の達成度をみて改善すべき事業は改善をしていきます。環境指標については、中間見直しである 5 年に 1 度見直すことをベースにしていますが、毎年度事業の評価はしていますので、途中経過として見直す必要があるものについては見直しをしていきます。ただご指摘のとおり、具体的な施策を示せていませんので次回には示せたらと思います。

部会長：ありがとうございます。他にご意見ありましたら事務局までお伝えください。

案件 4 部会検討内容の中間報告（案）について

部会長：案件 4「部会検討内容の中間報告（案）」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料 4、5 により説明】

事務局：指標の設定についてですが、ご指摘いただいたようにこの指標で良いのかの判断は具体的な施策がないと検討も難しいと思いますので、中間報告では今回のような具体的な数字は示さず、指標を設定していく方向であることがわかるよう簡略化した資料にします。次回部会で再度検討をし、最終の環境審議会への報告で具体的な数字を示していきたいと思います。

委員：資料 4 の 14 ページについて、「②地球環境」から「⑤都市環境・生活環境」のなかで SDGs の主たるテーマ 12「つくる責任つかう責任」と 13「気候変動に具体的な対策を」が「②地球環境」、「④資源循環」、「⑤都市環境・生活環境」に入っており、枚方市として重要視しているように思えます。もちろん両方大事ですが、例えば、13 は、枚方市が対策をとったところで、地球全体に大きな影響を与えるものではないものを、他のテーマを削ってまで入れるべきなのでしょうか。また、「⑤都市環境・生活環境」においては、地方自治体にとっては 13「気候変動に具体的な対策を」よりも、8「働きがいも経済成長も」や 11「住み続けられるまちづくりを」の方が重要と感じますので、何を重要視するのかを見直ししていただいた方がいいと思います。

部会長：「④資源循環」に 12 と 13 が入っているのも気になるところです。

委員：右側の同時達成のテーマに、8、11、14 もよく入っています。

事務局：他市の状況を参考にしていくと、このような表になってしまったのですが、再度整理をさせていただきたいと思います。

部会長：5 ページの「(6) 持続可能な開発目標 (SDGs) について」の後になぜ SDGs に関する

説明を入れたのかも説明を入れていただければと思います。

委員：14 ページの後ろに説明として 5 ページの説明を加えてはどうでしょうか。

事務局：市だけでなく全体として取り組んでいこうという方向性があるなかで、まず SDGs の大きな方向を示し、環境基本計画を策定するにあたっての関連性を説明するため記載しましたが、「(6) 持続可能な開発目標 (SDGs) について」の後には SDGs の必要性や位置づけを文書で説明し、14 ページの後ろに補足として SDGs の図を加えたいと思います。

委員：第 3 次環境基本計画のテーマについて、豊高委員のご意見がありましたが、地球環境という大きな考え方のなかで枚方市がどう取り組んでいくか、という流れで構成していくとするなら、現在の資料の構成でいいと思います。市民からしても、SDGs という大きな考え方があって、枚方市としてどう取り組んでいくかという構成の方がわかりやすいのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。検討させていただきます。

委員：先程、同時達成のテーマに 11 がよく入っているという話がありましたが、第 3 次環境基本計画のテーマに「住み続けたいまち」としているのも、SDGs のテーマ 11 はどこにでも入るのは当然だと思います。

委員：第 3 次環境基本計画のテーマにせつかく「住み続けたいまち」が入っているのも、11 は同時達成の前に記載した方がいいですね。

委員：少し話が戻りますが、「(3) 自然環境」の毎年度管理する指標で「観察会等に参加し、自然環境を大切にしようと感じた人の割合」とありますが、自然観察会に参加するのだから自然環境を大切にしていると感じる面と、参加することでもっと自然環境を大切にしないといけないと感じる面と、両方の意味で解釈ができると思います。また、目標値を基準年度より 0.3 ポイント下げているのは、自然環境は充分大切にされているという意味なのかどうかなど、受け取りが難しい指標を設定すると後で評価をするときに非常に難しいと思うので、シンプルに設定してはどうでしょうか。

事務局：自然観察会の指標については、参加することで自然環境を意識するようになったかをアンケートで質問した結果の回答数を記載しています。自然観察会や講演会のテーマによって回答数にバラつきがあるため、平成 30 年度の実績である 95.3%に基づき、トータルとして 95%程度あればいいかなという思いで設定しましたが、再度この指標でいいかも含めて整理させていただきます。

委員：環境基本計画策定部会委員以外の環境審議会委員の皆様に説明する資料として、資料 4 の 18、19 ページの内容は最初の方に提示した方がいいのではないかと思います。これから説明することが次期環境基本計画のどの部分になるかということが伝わるように、「計画の第○章に今説明する内容が入る」という説明の仕方をするのもわかりやすいのではないのでしょうか。その後で 1 ページの基本的な考え方を記載するのがいいと思います。SDGs も 1 ページくらいにとって説明し、それから課題に続くような構成にしてはどうでしょうか。

委員：5 ページの「(6) 持続可能な発展目標」を「開発目標」に、資料 5 の「2. 第 2 次枚方市環境基本計画策定以降の社会状況の変化と新たな課題」のなかの「発展目標」を「開発目標」に修正し、最終的にすべて正しくなっているか確認をお願いします。次に、資料 4 の「1. 第 3 次枚方市環境基本計画の基本的な考え方」の「計画の対象範囲」では、「生活環境」から「地球環境」への並びで記載されていますが、14 ページでは⑤に「都市環境・生活環境」を合わせて記載されています。ただいまの事務局の説明ですと、シンク グローバリー・アクトローカリーの順で並べておられるかと思いますが、資料 4 の「計画の対象範囲」も合わせて並び直されるのか、少なくとも「生活環境」と「都市環境」は並べて記載していただいた方が、対応関係がわかりやすいと思います。最後に、「2.

第2次枚方市環境基本計画策定以降の社会状況の変化と新たな課題」の「(4)【都市環境】まち美化」において、空き家の問題が記載されており、とても重要な問題と思いますが、後の「3. 第3次枚方市環境基本計画について」の「(4) 環境指標 (⑤都市環境・生活環境)」においては、アダプトプログラムや環境基準のことを記載されています。他については、課題と指標に関連性がありますが、都市環境の分野だけ関連性はありませんが、いいのでしょうか。空き家に関する指標としないのであれば、これまで指標化しているものの推移を記載するなど、あくまで感想ですが書きぶりを統一していただきたいと思います。

事務局：現環境基本計画策定時、空き家対策はあまりクローズアップされていませんでしたが、現在は新たな課題として取り上げられています。次期環境基本計画のなかでは施策として盛り込んでいこうと考えていますが、指標の設定が難しくこのような指標設定となりましたが、再度検討させていただきます。また、「計画の対象範囲」についてですが、環境基本条例の並びに合わせましたが、次期環境基本計画に合うように並び替えをさせていただきます。

委員：空き家の問題は重要ですので、削除しないようによろしくお願いします。

部会長：ありがとうございます。空き家の数を完全に把握することは難しいですが、しっかりと目標値として設定できると思いますのでご検討をお願いいたします。多田委員、小嶋委員からご質問やご意見はありますか。

委員：次期環境基本計画の冊子は、広報のように各家庭に配られるのではなく、見たい人がどこかへ見に行くのでしょうか。

事務局：各家庭は配りませんが、市ホームページに掲載しダウンロードしていただけるようにしたり、各図書館や生涯学習市民センターにおいて閲覧できるようにします。冊子の案ができれば、来年度パブリックコメントを実施し、市民のご意見もいただく予定です。

委員：普通に生活をしていて、SDGs という文字はよく目にしますが、SDGs って一体何なのか知らない市民が多いと思います。近所の工場現場に大きく SDGs の内容が貼られており、そのとき私は詳しく SDGs のことを知りとてもわかりやすかったです。広報が自身の判断材料となっている市民が多いというアンケート結果も出ていましたので、広報にて SDGs とは何なのかを掲載し、まず広く周知していただいてからの方が、市民としては SDGs が馴染みのあるものになるのではないのでしょうか。また、現在の資料であると、「生物多様性」というのが自然がいっぱいあっていい印象を受けますが、害獣も増えてきておりますので、今後の課題として記載していただいた方がいいのではないのでしょうか。

部会長：広報にて、SDGs とは何か特集を組んでおくことはとてもいいと思います。また、生物多様性について、増えて困る生物により、市民生活に影響も出ていますので忘れてはいけない問題だと思います。

委員：先日、環境白書を送付していただき拝見しておりました。綺麗な写真が掲載されていましたが、自分の住む周りをみているともっとこうしてほしいという部分がたくさんあります。災害避難予告や警報が出た際には、避難するように一番に連絡はくださるのですが、避難場所まで段差や坂道、橋があり車椅子では辿り着くことができません。高齢者にとってのやさしいまちづくりを是非お願いしたいと思います。

部会長：防災や地球温暖化、ユニバーサルデザインのことなど、そのようなことに取り組んでいくことが、住み続けたいまちにつながっていくと感じました。市民の目線でご意見をいただきありがとうございます。中間報告(案)の内容をどうするか検討しないといけません、いろいろとご意見もいただきました。

事務局：大きな方向性をご説明させていただいたとおりですので、委員の皆様からいただいた意

見を踏まえたうえで部会長と相談しながら、次回の環境審議会までに資料を整理していきたいと思います。あくまで中間報告ですので、議論の途中であることも説明していきたいと思います。

案件 5 今後のスケジュールについて

部会長：案件 5 今後のスケジュールの説明を事務局からお願いします。

事務局：【資料 6 により説明】

部会長：ありがとうございます。次回環境審議会は何時からの開催でしょうか。

事務局：18 時からの開催の予定です。

部会長：わかりました。案件はすべて終了しましたので、本日はこれで閉会します。ありがとうございました。